結露防止システム「ノン結露」施工要領書

「ノン結露」は下塗り材７ｋｇ・仕上げ材１５ｋｇの２種類の塗り材を１セットとして出荷しております。

この１セットで、結露発生面に対し２０㎡の以内面積で使用して下さい。

ただし、冷蔵庫・冷凍庫周辺の結露、冷水管等結露発生の激しい場所は１０㎡以内の面積で使用してください。

（塗装厚が厚いほど効果を増します）

※結露発生の激しい場所での使用、施工環境及び施工に関する不明点は、必ず販売店へご相談ください。

※ノン結露の本施工前に、ノン結露シートにて事前テストをお願いします。（塗布量：１５㎡仕様）

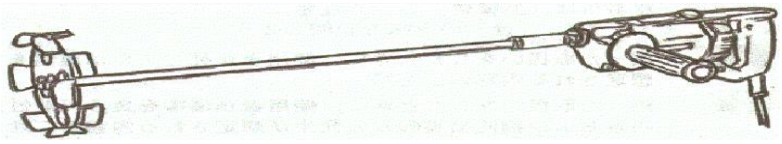
塗装面が湿った雰囲気、結露雰囲気にある場合は塗装できません。また塗装後、結露発生雰囲気にならない状態で１ヶ月以上の乾燥が理想です。十分な乾燥後に能力を発揮します。

下準備　塗装をする前に塗装面を、送風機等で十分に乾燥させてから塗装作業に移って下さい。
（結露あるいは水分を含んだ所に塗装すると剥離の原因となります）

塗装具　刷毛・ローラー・エアーガン・エアレスガン・温風低圧塗装機等で塗装できます。

攪　拌　電動撹拌機（大きい羽）にて下塗り材、仕上げ材それぞれ十分に（３分以上）攪拌して下さい。（セラミックと樹脂が分離していますので攪拌は必ず行って下さい）

攪拌羽はこのタイプの物が最良です。



Ⅰ　**下地処理**　基材は必ずｹﾚﾝ・洗浄（高圧洗浄）・ｶﾋﾞ処理等を行い基材合った下地処理材で処理をして下さい。
（下地処理材）コンクリート面はシーラー・フィーラー（下地調整材）、鉄部は変性エポキシ錆止め塗材、被塗装物は密着バインダー等をお勧めします。

Ⅱ　**下塗り材**　ノン結露下塗り材（０．３５ｋｇ／㎡）

塗装回数：必ず２回以上に分けて塗装して下さい。　乾燥時間：４時間以上（２０℃）

希釈量　刷毛・ローラー：０～７５０ｃｃ　ガン吹き：０～１，０００ｃｃ　（１缶当たり）

※ローラー施工の場合、鉄板やボード等の塗布面が滑りやすい物に塗布する場合は、１回目は希釈量を多目にして、ローラーが滑らずに回るような濃度で塗装して下さい。

２回目以降は、通常希釈量にて塗布量を確保して下さい。

仕上げ材　ノン結露仕上げ材（０．７５ｋｇ／㎡）

※下塗り材を十分に乾燥させてから仕上げ材を塗装して下さい。

塗装回数：必ず２回以上に分けて塗装して下さい。　乾燥時間：２０時間以上（２０℃）

希釈量　刷毛、ローラー：０～１，５００ｃｃ　ガン吹き：０～３，０００ｃｃ　（１缶当たり）

Ⅲ　**乾　　燥**　自然乾燥にて十分な乾燥時間を取って下さい。施工環境により、やむなく強制乾燥する場合は、送風・ジェットヒーター等で、緩やかな乾燥を行なって下さい。

〈特記事項〉　**本塗料は塗装乾燥後でも、塗膜表面はやや柔らかく塗膜に傷をつけない様、取扱に注意が必要です。雨天、強風、多湿の日を避け、天気の良い日を選んで塗装して下さい。（水性塗材ですので、気温５℃以上、湿度 65%以下の環境で施工して下さい。）**

※ノン結露の塗膜表面が、若干湿った感じになりますので「専用抗菌剤」の添加をお勧めします。

※仕上げ材・下塗り材共に製造後３ヶ月以内に使い切ってください。

※取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護マスクを着用して下さい。また、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。

平成 23 年 4 月　株式会社日進産業